

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月13日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	16210
政策名 (章)	第6章 彩りのある市民文化を創造します	評価担当課	企画部 ▼
基本施策名 (節名)	第2節 郷土意識づくりの推進		企画政策課
施策名	郷土意識の醸成	課長名	田所直久

1 施策の概要・目的

郷土の伝統文化の保存・継承やふれあう機会を充実することにより、市民の郷土意識の醸成を図る。

2 施策の現状

- ・地域の人々の連帯感や郷土意識を育む催しを支援
- ・他に誇れる特産物等の開発を促進

※課題は後継者不足や魅力ある特産物の開発

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

483,255 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

785 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **51** 番目です。

(4) 施策に要している人員

1.28 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	相模原市立博物館の利用の有無 ・行ったことがある 33.1% ・行ったことがない 66.9%	郷土意識の醸成度を、博物館に行ったことのある人の割合で表示	現状 33.1% 単位	0 50 100	18	目標年度
			目標 70% 単位		47.30%	達成度
指標2	相模原民族芸能大会の開催状況 ・昭和54年から開催 ・今年で24回目 ・民族芸能保存協会、1団体増加	郷土の伝統文化の保存継承の状況	現状 1回 単位	0 50 100	15	目標年度
			目標 1回 単位		100%	達成度
指標3	新たな特産品・特産物の開発 ・さがみ長寿いもやゲイマーワイン等に続く新たな特産品・特産物の開発	新たな特産品・特産物の開発状況	現状 0種類 単位	0 50 100	18	目標年度
			目標 1種類 単位		0.00%	達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

愛好者、関係者以外の市民の関心はあまり高くはないが、歴史的遺産を絶やさないためにも伝統芸能や文化財等の保存活用は継続していかなければならないものである。
特産品・特産物の開発については、地域の知名度アップや農業・商業振興のためにも、今後一層推進していかなければならない。

6 有効性…期待される効果があがっているか

市民所有の貴重な写真等を公募し、市民の参画を得ながら市制施行50周年記念要覧を製作することについては、郷土意識の醸成を図る上で、一定の効果が上がっている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

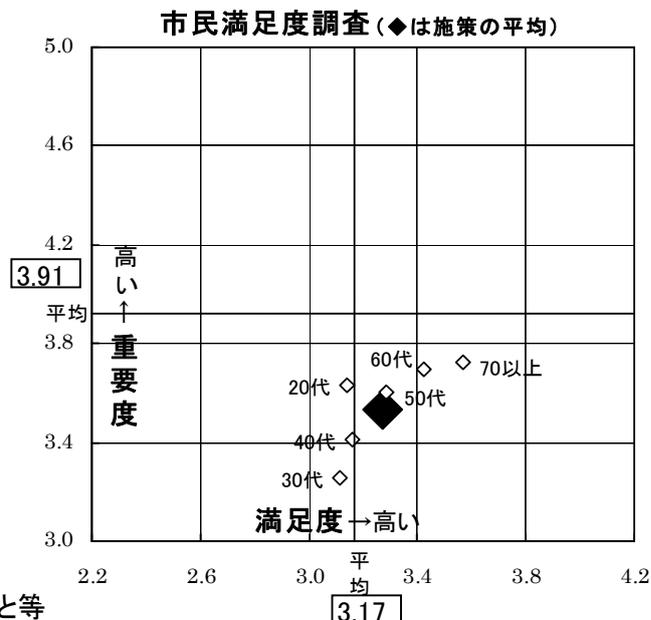
郷土意識の醸成については、効率性という観点では評価しにくい内容ではあるが、与えられた予算の中で、効率的に保存・活用等を図っていかねばならない。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、3.270で、調査した51施策の中で13番目です。
- ◆この施策の重要度は、3.533で、調査した51施策の中で46番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.186で、調査した51施策の中で48番目です。

◇年齢別にみると、満足度は40歳代以下でほぼ同じ水準となっていますが、50歳代以上では加齢とともに高くなっています。重要度は30歳代及び40歳代で低くなっていることが目立ちます。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「○総合計画における位置付け等」参照)



9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

- ・伝統芸能等、潜在的な愛好者の掘り起こし
- ・伝統芸能等の後継者育成
- ・市民、民間等による伝統芸能の保存・活用等の支援体制
- ・市民、民間等による特産物開発のための支援体制

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向	
<input type="checkbox"/> 拡充する	➡
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持する	
<input type="checkbox"/> 見直し	

説明及び具体的内容

博物館、大風資料館等の施設については、伝統・歴史的文化の保存・継承という視点からも、入場料の徴収を検討する必要があると考える。また、保存・活用等、様々な支援・促進を図っていくには、今後、市民・民間等による力を活用すべきと考える。

11 2次評価

説明	
<input type="checkbox"/> A	郷土意識は地域固有の文化や他の地域との交流等の中で醸成されるものであり、「相模原らしさの創出」や「多彩な文化交流の促進」など、他の文化関連施策と連携して取り組むこと。
<input type="checkbox"/> B	
<input checked="" type="checkbox"/> C	

12 外部意見

説明

郷土意識の醸成に取り組むべきである。その際、市民意向を把握するとともに受益者負担及び有効な施設運営について検討すべきである。

